

守屋多々志作「桃太郎」



発行:大垣市議会ニ編集:市議会だより編集委員会 TEL:0584-81-4111

平成二十三年四月二十四日執行

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

大垣市議会

議員氏名 議席番号

1 長谷川つよし

(2) 中田ゆみこ

(3) 富田三郎

粥川 加奈子 (4)

(5) 田中孝典

(6) 日比野 芳幸

(7) 山口和昭 (8) 小川文康

野田のりお 9

笹田トヨ子 10 石田

川上孝浩

所 住

中野町

東町

稲葉北

池尻町

上石津町牧田

荒川町

波須

墨俣町墨俣

赤坂新町

室町 仁 外野

枝郷

議席番号

議員氏名

13 (14)

(15) (16)

(17)

(18) 19

20

(21) 22)

23)

住

岡 本 敏 美 石川まさと

丸山新吾 岩井哲二 岡田まさあき

高橋 滋 野村 弘

鈴木陸平 横山幸司

富田せいじ 新太郎

高畑 (24)

所

牧野町

禾森町

林町 坂下町

藤江町

直江町 笠木町

西崎町 馬場町

島里 川口

寺内町

Œ

元気ハツラツ市

(11)

(12)



◇人事案件◇予算関係

十六件

そ請意 見

一十 三 日 日

五.

産税は減少するものの、企

市民税の増を見込み市税全 業収益の回復等による法人 十八七日日

る委員会

月七日から二十五 回市議会定例会は 本会議 日まで

か、地方交付税の増額など 体で一・八%の増となるほ

により、一般財源の総額は

一・○%の増となっている。

方、歳出については、

定資産評価審査委員会委員定資産評価審査委員会委員 し可決。 の選任など、 開かれました。 一議案を先議

公債費が前年度から減額と

また、初日に上程された 平成二十三年度大垣市一般 会計予算、平成二十二年度 大垣市一般会計補正予算な ど予算関係二十八議案、大 垣市地域事務所及び支所設 置条例の制定など条例関係 十六議案、その他三議案の 計四十七議案と、 議員提出議案として出され 最終日日

なっている。

また、緊急雇用対策や景

会保障関係経費が増額と

する子ども手当や障がい者 なるものの、三歳未満に対

への自立支援給付など、社

育て日本一」「かがやきライ 全・安心」「環境創造」「子 く「都市再生・活性化」「安 ど、第五次総合計画に基づ むすびの地周辺整備事業な 気対策をはじめ、奥の細道

フ」の五つの重点プロジェ

● ○ 一般会計署 ○ 一般会計署 予予予 額算算算

千四 千四百四十一億五百万円三百十十十億五百万円四百六十八億五千万円五百万円

三月七日

本会議

十四四

本会議

提案説明

企画総務委員会 全面総務委員会 全面総務委員会 全面総務委員会 市民病院に関す一対策委員会 (一般質問) より、個人市民税と固定資 化や設備投資の減少などに については、雇用情勢の悪 本市の財政状況は、歳入 予算編成の基本方針

)平成二十三年度 請願一議案を不採択と

案の合計四十九議案を審議 し、その他は原案どおり可 決、閉会しました。

申し上げます。 留意のうえ、一日も早い の皆様に謹んでお見舞い 方々には何卒お身体にご 申し上げます。 に、被災されました多く 祈り申し上げますととも ました方々のご冥福をお した東日本大震災によ 復旧復興を心よりお祈り また、避難されている 三月十一日に発生しま お亡くなりになられ

この議会だよりは再生紙を使用しています。ごみの減量、資源の有効利用にご協力ください。

大垣市議会—

「都市再生・活性化」プ

トに可能な限り予算を配

度予算総額は、対前年度比 明許費を設定するほか、市 な予算編成となる。さら えた、実質の平成二十三年 れにより、繰越明許費二十 景気対策を講じていく。こ 十二年度から切れ目のない 議決した平成二十二年度一 過去最大規模となる積極的 校耐震補強事業などで繰越 般会計補正予算のうち、学 に、本年一月の臨時議会で を編成した。 元気な地域づくり予算」 億八千九百六十万円を加 ・一%の大幅な増となる 担行為を設定し、平成二 独の景気対策事業の債務 点プロジェクトの概要

芭蕉が奥の細道の紀行を終 風情を醸し出す修景化など 賑わいの空間を創出してい の周辺整備を実施し、松尾 記念館の建設のほか、イベ 整備構想に基づき、(仮称) 人垣市奥の細道むすびの地 ト広場の整備や、川湊の

巻く環境が厳しいなか、安 給できる農業を目指し、農 全で良質な食を安定的に供 や高齢化など、農業を取り また、農業就業者の減少

> 清流大会」で本市を訪れる れる「ぎふ清流国体・ぎふ

また、来年9月に開催さ

の農業施策の指針となる農 産地消の推進、農業の担い 業ビジョンを策定して 手の確保・育成など、本市

を進めるとともに、誰もが 境を整備していく。 安全で安心して暮らせる環 め、災害に強いまちづくり 「安全・安心」プロジェ

生時に、被災者に対し迅速地震や台風などの災害発 備や北小学校における雨水画に基づき、江西川護岸整 もとに開発された、被災者 な対応が図られるよう、 ど、浸水対策事業を重点的 流出抑制施設の整備設計な るほか、大垣市排水基本計 情報管理システムを導入す 宮市が阪神大震災の経験を 西

らなる充実を図るため、市また、救急医療体制のさ 民病院救命救急センター 増改築事業を引き続き進め ていく。

ともに、従来型産業の活性

したまちづくりを進めると

化と新産業の創造により、

化など、地域の個性を生か ロジェクトでは、歴史や文

産業の振興を図っていく。

奥の細道むすびの地周辺

習を通して環境教育を推進か、発電の仕組みなどの学 会の実現を目指していく。 もに、環境への負荷を減ら 自然環境の保全を図るとと 球環境を守るため、良好な していく。 電した電気を活用するほ 太陽光パネルを設置し、発 トでは、かけがえのない地 し、将来への持続可能な社 中川小学校校舎の屋上に 「環境創造」 プロジェク

ジェクトでは、 **゙**かがやきライフ」プロ

景観ゾーンを「四季の里」 会場となる公園などに秋の んでいただけるよう、 として整備していく



備に努めていく。 で見守り、育てる体制の整 支援策の充実を図るととも 育てができるよう、子育て ジェクトでは、安心して子 に、子どもたちを地域全体

ふれあい、楽しむことがで を図るとともに、施設を広 子育てに対する意識の高揚 夏、秋、冬の年四回開催し、 きるフェスティバルを春、 ンター」において、親子が くPRしていく。 「大垣市子育て総合支援セ 子育て支援の拠点である

の学ぶ意欲を伸ばし、次世 行っていく。 北幼保園」の実施設計を 建設する「(仮称) 大垣市立 合わせ、かさぎ保育園、北 代の博士を目指す参加型学 のまち大垣」の子どもたち 幼稚園を統合して、新たに くん応援事業として「文教 さらに、水都っ子はかせ

子育て日本一」プロ

習会の開催を支援してい また、北保育園の改築に

市民の皆様

ちづくりを推進していく。 など、市民一人ひとりが 活動を推進し、地域教育力 ど、地域ぐるみの社会教育 もに、社会教育の推進を担 深い講座等を開催するとと の主体的な活動を支援する の向上に努めていく。 う地域の人材を育成するな など、地域社会に関わりの 民の魅力で活力あふれるま して、食育・環境・子育て 地区センター等を拠点と

菜園を開設し、都市住民の すい環境を提供する「かが やき農業塾」事業を支援し 方にも、農業に取り組みや がら作付けや栽培ができる て、指導者の助言を受けな また、上石津地域にお

※急雇用・景気対策経費の概要

年一月の臨時議会で議決し 臨時特例基金を活用して、 雇用の創出を図っていく。 緊急雇用対策としては、

森林・林道等の環境整備や 郷土資料のデータベース に、県の緊急雇用創出事業 また、景気対策では、本 公園等の巡回指導など

期間を延長するほか、中小 金及び中小企業経済変動対 企業小口資金融資利用に係 引き上げるとともに、融資 策特別資金の融資限度額を 景気を下支えしていく。 なく執行することにより、 さらに、中小企業振興資

を着実に進めていく。

◇大垣市地域事務所及び支 ○条例関係(主なもの)

◇大垣市奥の細道むすびの いて 地記念館条例の制定につ

〉大垣市民の歯・口腔の健 康づくり条例の制定につ

〉大垣市に常時勤務を要す る特別職の給与の特例に 関する条例の一部改正に

〉大垣市病院事業の設置等 〉大垣市簡易水道の管理に 関する条例の一部改正に に関する条例の一部改正

○人事案件

の推薦に同意した。 擁護委員候補者に日比俊昭 三津屋町 委員に山本敦子氏(再任、 固定資産評価審查委員会 '四)を選任、人権

予算を一体として、切れ目 補正予算と平成二十三年度 た平成二十二年度一般会計

○その他

◇指定管理者の指定につい◇委託協定の変更について

大垣輪中水防事務組合規 約の変更に関する協議に

ではあるが、緊急雇用・景なか、依然厳しい財政状況 様が未来に夢を描くことの 極的に取り組み、市民の皆 できる長期的なまちづくり 合計画に基づく諸事業に積 気対策をはじめ、第五次総 景気の先行きが不透明な

所設置条例の制定につい 行いました。 三月十匹

治区を設置しないこと」 「一般制度での地域自

実に逆行するのではな たわれている市民自治組 治区は設置しないという趣 織・地域コミュニティの充 旨の報告を受けた。これは 大垣市第五次総合計画にう 一般制度での地域自

地域及び墨俣地域の住民不 区に関する協議の規定によ 答弁 本市では、平成十八 安を低減するため、平成二 これは、合併による上石津 域を区域として設置した。 り、上石津地域及び墨俣地 併特例法に基づく地域自治 年三月の合併に当たり、合 推進されるのか。 五年間を期限に設置した。 十三年三月三十一日までの 仕組みづくりをどのように 今後、本市の市民自治の

開かれた行政を推進すると として、市長とのかがやきこの間、市内全域を対象 皆様が積極的に参加できる 民委員の登用など、市民の ライフトークの開催をはじ め、各種審議会での公募市

と行政が協働して地域を支 づくり指針に基づき、市民 今後も、市民協働のまち

体などにより、地域自治区社協をはじめとする各種団 おける地域自治区の取り扱 の地域自治区の設置は実施 目治法に基づく一般制度で 展開されているので、地方 いは、現在、自治会や地区 代わる市民自治が活発に ないとした。

まえ、まちづくりを進めて て議論してきた。平成二十れからのまちづくりについ 会の設立が検討されてい て、(仮称)まちづくり協議 いくための新たな組織とし 三年度には、その結果を踏 究会において、両地域のこ 織した地域コミュニティ研 などの各種団体代表者で組 及び墨俣地域を対象とし 域コミュニティ組織設立 て、自治会や市民活動団体 ための調査研究は、平成二 - 一年度から、上石津地域 大垣市における新たな地

本によってとしなるままっていまるまちつくりを進めてい 的に運営される組織であ 体となって設置され、自主 が抱える課題の解決や魅力 域協議会とは異なり、地域 この新たな協議会は、地 債の抑制を図って、

となったのも、これまで市

進めるため、平成十五年に

参画社会づくりを総合的に 答弁 本市では、男女共同

男女共同参画推進条例を制

け、地域コミュニティの活える市民自治の実現に向 性化につながる市民活動 育成や支援に努めたい。

市長の財政政策に対す

受けられる。 資政策に変わったように見 市長は二期八年で努力し 解できるが、最近は積極投 わずか三年で百億円増えそ たが、平成二十一年度から て、百億円ほど減額してき 学校耐震化等の事情も理 市債について、小川

は、厳しい経済情勢の中、 答弁 平成二十三年度予算 についての考えは。 市長の今後の市財政政策

(完成予想図)

リサイクルセンター

北部学校給食センターの建 め、リサイクルセンター、 道むすびの地記念館をはじ を図りつつ、各種基金、市 と、徹底した経費の見直し が頑張る」という信念のも い大垣市を目指し、 債などを活用し、前年度比 「民間が厳しい時こそ行政 ・二%増の積極予算とし 対応すべく予算編成を いる。とりわけ、奥の細 地域の活性化と住み良 浸水対策事業の推進な 諸課題

女共

同 参 画 0) 進

題点や課題が見えてきた。

点で、市で取り組んで成自治会三役に女性が少な

の取り組みをした結果、問 デル地区指定を受け、

事業など、国の補助事業も ては、一月補正した学校耐 なものと認識している。 合わせて、厳しい経済情勢 こうした財政政策につい こうした積極財政が可能 中、景気対策のため必要 きめ細かな交付金

体制作りを推進してほし

ついて、女性が参入できる

託する指定管理者の指定に

また、公共施設管理を委

財政圧迫とならないよう、 年度から増加に転じてお より、市債残高は平成二十 がピーク時の平成十四年度 市債管理には十分留意す 平成二十三年度予算では四 震化などの集中的な実施に 減少していることが要因の つと考えている。 しかしながら、学校の耐 六十五億六千万円から、 五億六千万円と、大幅に 今後、公債費の増加が

登用率が三十八・二%に上

議会等における女性委員の

昇した。

されるまちづくりを進める 男女共同参画の視点が反映 ため、男女共同参画推進モ を指定し、地域活動の場に 年度から単位の連合自治会 り組んでいる。 デル地域実践支援事業に取 の一環として、平成二十一 また、プランの取り組み

れた。 より、 練など女性の視点を生かし などを行うボランティアグ た 実践的な活動が展開さ ループの設立、総合防災訓 このモデル事業の実施に 防犯防災の見守り活動 女性消防団員の誕

進モデル地域実践支援事業 あらゆる機会をとらえ意識 などを推進するとともに、 今後も、男女共同参画推

男女共同参画推進モ



はどうか。

数値目標の設定を導入して 果が出ている事例に習い、

獣害対策の迅速な推進を

近年一層拡大している。 サル等による獣害は、 ニホンジカ、イノシ

を策定し、男女共同参画を 年に男女共同参画都市を宣 積極的に進めており、平成 第二次男女共同参画プラン 言し、さらに平成十九年に 定するとともに、平成十七 二十二年四月一日現在、審 作物の被害は甚大であり、 生産意欲の減退による耕作 推進が求められている。 始めており、対策の迅速な 放棄も拡大している。 た、人身への被害も発生し 本市の今後の取り組

対策講演会を開催した。 る助成を行っている。 防護ネット等の設置に対す 作物の被害が増加してい る駆除をはじめ、電気柵や して、有害鳥獣捕獲隊によ 家を講師に招いて、鳥獣害 いては、鳥獣害対策事業と る。こうした中、本市にお ノシシ、サル等による農 昨年十二月には、 近年、ニホンジカ、 専門 ま

加につながる。 市としては、鳥獣害対策

き、電気柵や防護ネット等 捕獲隊の育成強化や地域に とともに、 ると認識しており、引き続 おける勉強会を開催するな の設置に対する助成を行う については喫緊の課題であ 地域との協議を通じ 新たに有害鳥獣



づくりを行うために 安全安心で快適なまち

用地である用水路の伏せ越 しや電柱の移設・地中化を ムーズに運行できるよう、 くりにより、救急車両がス 道路幅の拡張策として、 ある地区計画によるまちづ

鳥獣による農作物被害の ない社会資本であるが、車 用状況を踏まえ、 ら、市民ニーズや道路の利 両等の通行の支障となる狭 に努めている。 小幅員の路線があることか

招くなど、耕作放棄地の増 拡大は、生産意欲の低下を

や自動車交通量を勘案し、 様々な施設があり、 道路には、電柱をはじめ

緑化の長期ビジョンに

かな大きな森をつくっては 杭瀬川河川敷を、 源氏橋からJR鉄道までの 保護区として保全し、緑豊 南一色地内に広がる 自然環境

都市基盤整備手法で

道路の活用を要望する。 で快適な市民生活に欠かせ 答弁 道路は、安全・安心 より一層進め、ゆとりある

る方法について検討してい 今後も水路を有効活用でき 路管理者と協議しながら、 活用があるが、原則、水路 道路に並行している水路の は開渠が望ましいため、水 その手法の一つとして、

移転効果の高い場所につい が、道路空間を最大限有効 て通行の支障となっている の理解を得ながら検討して て、各占用者や関係地権者 に利用できるよう、歩行者 時とし

> 答弁 杭瀬川河川敷の今後 え河川管理者とも協議して てはどうか。 るよう治水上の視点を踏ま 然を活かした整備計画とな る予定である。最大限に自 から基本構想の再構築を図 の整備については、来年度 見越して森づくりに着手し 今から二十年、三十年先を ぎを持ってもらうために、 に、市民の心に潤いと安ら

率で約十三%、面積で約十況は、約二十年前より緑被上石津地域を除く緑の状 緑の保全が課題である。 緑の回復を図るとともに、 ており、今後は、失われた 平方キロメートルが減少し

道路拡幅

樹や、緑を学び、広めるた 里や、それを結ぶ回廊など を重点的に整備している。 では、行政のみならず企業 人材育成にも力を注いでい めの講習会を開催するなど 特に、市内各地で四季の移 かなまちを目指している。 や市民と一体となり、緑豊 た大垣市みどりの基本計画 ~変わりを楽しめる四季の また、市民の皆様との植 平成二十一年度に改定し

幼保園について

児からの未満児保育や障が の大規模園となり、ゼロ歳 園を統合し二百五十人以上 職員数も相当規模になると い児保育の指定園として、 北保育園、かさぎ保育 北幼保園は北幼

どうか。 市中心市街地に近い場所

保育など専門性を必要とす

渋滞が起きたり、障がい児

園児の送迎による交通

る保育の実践ができるのか。

本市では、子どもが

健やかに育ち、安心して子

育てができるまちを目指

て日本一のまちづくりに鋭

ーを開設するなど、子育

子育て総合支援セン

意取り組んでいる。 幼保園化については、平

ر ۲۰

をはじめ、現在までに五園 的に運営する施設として、 幼稚園を区別することな 幼保一元化将来構想に基づ 成十六年に策定した大垣市 育環境の向上に努めてい の専門性を高めるなど、保 施設の配置や個々の保育者 ビスがより充実するよう、 保園においては、保育サー 円滑に機能している。 やかに育つための場として れ、一人ひとりの園児が健 の幼保園化では、保育園と を開設してきた。これまで 半成十七年度の赤坂幼保園 く。交通対策については、 北保育園、かさぎ保育 保育園と幼稚園を一体 北幼稚園を統合する幼 就学前児童として、同 幼児教育が提供さ

関係機関等と協議をしてい

北保育園

と言われている。

認知行動療法について

うつ病対策につ

(J

7

センターの連携のもと、医ため、大垣市民病院と保健 病など心の病が急激に増加 している。 いストレスが蔓延し、うつ うつ病患者の健康を守る 社会構造の変化に伴

可能性がある身近な病気と 早期発見・早期治療が大切 なっており、 などをきっかけに起こり、 た治療の取り組みを構築 よる認知行動療法を活用し 一的な病気、 おいては、 看護師、心理士などに精神保健福祉士、薬剤 うつ病は、現代社会 経済的な不安 誰でもかかる ストレスや慢

医療機関は中濃地域に から保険適用となり、 む人を対象に、 は、うつ病など心の病に悩 て、最近注目されている のパターンを変えること 心を軽くする治療法と 平成二十二年四月 考え方や行 専

所ある。

本市においては、

現在、

を通じ、 市民病院の精神神経科外来 普及・啓発のため は、うつ病に関する知識 入れた治療も考えていく。 保健センターにお ている。 再開に向けて、 日本精神神経学会など 認知行動 外来を再開すると 医師の派遣を依頼 医師の確保がで 療機関 0) 名古屋大 療法を取 の情報提 11 7

制整備については、県や医知行動療法の受けられる体 も紹介していく。 らに認知行動療法につい 談機関を紹介するなどの ートに努めているが、 会等関係機関と連携を 今後、 7

ため、

その動向を見守りな

制度の実施を検討している

齢者に対し、無料クーポン

1代を対象にして、

節目年 は

このような中、

たい。

ともに、

啓発に努めてい

がる検診方法を研究すると がら、受診率の向上につな



ん対策につ

の第 八%と低い状況である。 腸がん検診の受信率は七 大切だが、本市における大る。早期発見・早期治療が 四十歳から六〇歳の働き がんで亡くなって 一位であり、 がんは日本人の死 三人に

向にある。 食生活の変化により増加 診してもらっては。 し、一人でも多くの人に 盛りの方を対象に、 検診無料クーポンを配布 大腸がんは、 大腸が 近年、

供する七対一の看護体制

写護体制が-ビスを提

患者によ

り手厚い看護サー 性期病院として、

求められている。

現在で、 実施しており、 方を対象に大腸がん検診を られた方を除く約二万七 本市では、 人のうち約十一%の 、企業等で検診を受ており、昨年十二月 兀 十歳以上

がん検診キャンペーンロゴ



現すべきでは。 きていないのは大垣市民病 院だけである。プロジェク 以上の自治体病院のうち、 トチームを組んで早期に実 七対一の看護体制を達成で 民病院の運営について 県内の病床数二百床

答弁 大垣市民病院は、 べきでは。 り、一般競争入札に改める の 社による指名競争入札、そ うち、二十五品目だけが四 :他はすべて随意契約であ また、二千品目の薬品の

護補助業務の 員の計画的な増員や病棟看 境の整備として、 委員会を立ち上げ、 九年に看護師確保に関する 着確保を図るため、平成十 こうした中、看護師 業務負担の軽減を図 個室化や内装改修を完 る。寮の環境整備 一部を委託 看護補助 就労環 の定

(発行・掲載予定5月下旬)

市民1人当たりの金額

市民1人当たりの予算361,832円

※平成23年3月1日現在の人口164,579人で算出

ホームページは

▶本会議・委員会の会議録がご覧いただけます。 本紙に掲載された質問・答弁等の詳しい内容については、

図書館、市政情報コーナー、議会事務局などで、会議録をご 覧になるか、市議会ホームページでもご覧いただけます。

正な競争性の促進等を図 さらなる透明性の確保、 ら見積書を徴取している。 入札システムについ 医療機器や医薬品の購 般競争入札の

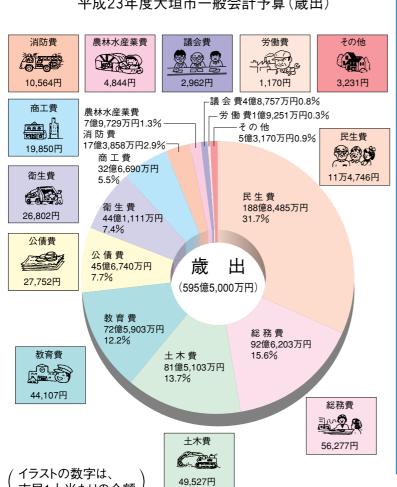
離職防止に努めてきた。 了させている。 活用を促し、 平成二十三年度には、 また、

護部に専従で職員を配 や悩み相談については、 きやすい職場環境づくりに 師確保に関する委員会を核 努めていく。さらに、看護 かり の二十四時間保育や一 いく。職員の子育て支援 ープを立ち上げ、 ついて、ワーキング 看護師寮の建設など を実施するなど、 研究 グ L

し、対応している。 複数の業者か 公 査る

大垣市議会

平成23年度大垣市一般会計予算(歳出)



グラフで見る

平成23年度大垣市一般会計予算(歳入)

